

吉見町地域おこし協力隊(よしみ移住支援員) 業務内容【2・3 年目】

■ 成果物(2・3 年目)

項目	内容
成果物	移住案内紙パンフレットの完成
詳細	見開き 10 ページ程度を想定しています。記載内容としては、吉見町マップ、暮らしデータ情報、移住者インタビュー(ご夫婦、子育て家族など)、吉見町の魅力(観光・特産品・FAQ など)を想定しています。

項目	内容
成果物	移住情報の発信・更新体制を構築
詳細	移住情報ページの更新、総合政策課の Instagram アカウントでの情報発信、ふるさと住民登録者への情報発信が安定的に行える体制を構築します。 行政からの公式情報を発信する業務のため、フォロワーを増やすことを目的とするものではなく、移住の基本情報を対象者へ届けるために行います。

■ 具体的な活動内容(2・3 年目)

Point① 紙パンフレットの作成

1 年目に収集・整理した情報や、移住者インタビュー等をもとに、紙パンフレットを作成します。
最終的なデザインや印刷は業者に依頼するため、デザインスキルは必須ではありません。

Point② 移住イベントへの参加

年 1～2 回程度、国や県の実施する移住イベントへ参加して、吉見町の PR を行います。
移住イベントを通して、他自治体の情報も収集し、今後の移住促進業務に活かしていきます。

Point③ 情報発信業務について

以下 3 つの業務を想定します。

- ・移住情報ページの更新:常に最新の移住情報が見れる状態にします。
- ・総合政策課 SNS 更新:月 1 回程度、吉見町の移住に関する基本情報を発信します。
- ・ふるさと住民登録の活用:ふるさと住民登録(ベーシック)を促す仕掛けをつくり、移住や引っ越し希望者の裾野を広げ、情報を届けます。

Point④ 移住促進に向けた新たな取り組みの検討・実施

業務の進捗状況を踏まえ、吉見町への移住をさらに促進するため、職員と新たな取組を検討し、実現可能な範囲で実施します。

- (例 1) 移住ツアーの企画・開催
- (例 2) 移住者交流会の開催
- (例 3) 移住 PR 動画の作成・発信
- (例 4) オンラインによる移住相談会 等